

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

					事務事業コード		141-01-01	
事務事業名		市民緑化推進事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線2761	
担当部署名		農とみどり推進課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民(登録団体)						
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。						
	手段 (事業内容)	誕生記念植樹申請者:誕生記念植樹1本(年間申請者氏名プレート) 健康まつり来場者及び、都市月間PRにおけるチューリップ球根の配付、グリーンボックス貸出団体への花苗の配付						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 誕生記念樹購入 205千円 誕生記念樹枯死分 145千円 バンジー購入 753千円 腐葉土他 301千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,550	1,481	1,500		
決算額	事業費	1,481	1,404	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体数	単位	団体
指標の説明	街角緑化のためにグリーンボックス(プランター及びハンギングポット)を貸し出している登録団体の数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	101	90	91
実績	95	91	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体への花苗の配付数(枯死植え替え分は含まない)	単位	株
指標の説明	貸出団体への花苗の配付数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	13,600	11,400	11,400
実績	13,326	11,400	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 緑化の推進は、地域環境の改善を図り、植物が生育することにより、地域の環境改善効果や市民の心理効果を向上するためにも必要な事業である。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 減少傾向にあるグリーンボックスの貸出数増の検討をし団体増を図る。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-02	
事務事業名		公共緑化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2761	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公共施設					
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	公共施設への花苗及びチューリップ球根の配付し、地域のコミュニティを活性化させ環境美化等を図るものです。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 公共施設花苗・土購入 999千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,070	1,000	1,150		
決算額	事業費	1,000	999	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公共施設登録等配布個所数	単位	施設
指標の説明	花苗等の配布対象となる公共施設及び教育機関の数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	65	61	61
実績	65	61	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公共施設への花苗配付数	単位	株/回
指標の説明			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	7,000	6,000	6,000
実績	7,000	6,000	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 教育施設:「生徒の自然との接触」「生徒に対する環境教育の場の創出」「学校環境の美化」を目的に緑化意識向上に務める。 公共施設:市民への緑化意識向上に務める。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 引き続き緑化意識向上に努める。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-04	
事務事業名		菊花大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2761	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	菊花の培養並びにその技術の向上、鑑賞市民の情操の融和を図り緑豊かな潤いのある街づくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	日本を代表する花「菊」を大阪菊花会会員や市民が育てた菊花を羽曳野市民や近畿一円の菊花愛好者に対して披露し展示する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
当初予算額	事業費	156	153	215		
決算額	事業費	0	134	-		
	特定財源等	0	0	-		

【事業費】
R4.10.23～R411.8まで開催
(17日間で延べ11,000人来場)
R4 134千円

【特定財源】

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	菊花大会出展数	単位	展	
指標の説明				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		0	80	40
実績		0	40	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	菊花大会来場者数	単位	人	
指標の説明				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		0	5,000	3,000
実績		0	11,000	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 会員の高齢化に伴い、出展数の減少。多くの市民や福祉施設等の来場者があり緑豊かな潤いのある街づくりに効果がある。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 若い人材の育成に力を注いでいかなければならない。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

						事務事業コード		141-01-05	
事務事業名		森林経営管理事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)		
				連絡先			内線2761		
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	6	農林水産業費		
	施策	4	みどり・空間整備		項	1	農業費		
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	農業振興費		
事業の概要	対象 (誰を・何を)	森林所有者及び森林地							
	目的 (どうしたいか)	森林の所有者及び境界の明確化に努め、森林の適正な管理を促進していく。							
	手段 (事業内容)	新たな森林管理システムとして森林経営管理制度が導入されもて、森林の所有者及び境界の明確化に有用な基礎資料として、土地登記簿及び公図等の既存の資料、航空レーザ測量により得られたリモートセンシングデータを活用し、「森林筆界候補図」等を作成するとともに、作成したデータを林地台帳及び3Dビューワソフトに反映し、所有者との協議を行う。財源として森林環境譲与税を活用。							

予算・決算額		(単位:千円)			＜主な内訳(令和4年度決算)＞	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 三次元閲覧システム導入業務 【特定財源】 森林環境譲与税基金繰入金	
当初予算額	事業費	—	1,300	7,264		
	事業費	—	807	—		
決算額	特定財源等	—	807	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	三次元閲覧システム作成	単位	1式	
指標の説明	森林の所有者及び境界の明確化のための準備行為			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	0	—	
実績	—	0	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	—	単位	—	
指標の説明	—			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	—	—	
実績	—	—	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	拡充・重点化	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、市町村における森林環境税及び森林環境譲与税を活用した森林整備等求められている。そのために森林管理者の特定と整備を促す必要があり、令和4年度から準備を進めている。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 現在、市で保有している林地台帳図は境界や地番が不明確である。また、林地台帳は、所有者の情報等が長年更新されていないため、整備する必要があり、令和5年度は森林の境界候補図を作成し、所有者への確認及び整備に係る意向調査を実施していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

					事務事業コード		141-02-01	
事務事業名		みどりの講習会開催事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線2761	
担当部署名		農とみどり推進課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備			項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進			目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
	目的 (どうしたいか)	季節にあったテーマを選び自然を知り、緑をふやし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて市民自ら緑化推進を図ることにより緑の輪が全市へ広がるきっかけを作る。						
	手段 (事業内容)	季節にあった花苗を選定し、講義や実習を通して身近な家庭園芸から緑化推進を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 教材費 215千円 【特定財源】 緑の講習会参加費 1,500円×95名	
当初予算額	事業費	275	249	249		
決算額	事業費	204	215	—		
	特定財源等	93	143	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	みどりの講習会開催数	単位	講座
指標の説明			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	3	3	3
実績	3	3	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	みどりの講習会参加人数	単位	人
指標の説明			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	61	100	103
実績	100	95	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 季節にあったテーマで、緑を増やし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて地域より緑の輪が広範囲へ広がるきっかけをつくる。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 講習会参加費増の検討が必要。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		212-01-32	
事務事業名		農業者支援事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	危機管理		項	1	農業費
	施策の方向	2	危機事象等への対応強化		目	3	農業振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	大阪府肥料価格高騰緊急対策支援事業の受給決定者で、羽曳野市在住または本店がある農業者。					
	目的 (どうしたいか)	農業資材等価格高騰に伴う農業者の経済的負担を軽減する。					
	手段 (事業内容)	販売金額に相応した支援金を支給する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 15,690千円 【特定財源】 新型コロナウイルス感染症対応地方創
当初予算額	事業費	－	18,000	－	
決算額	事業費	－	15,690	－	
	特定財源等	－	15,690	－	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	支援金支給件数	単位	件
指標の説明	農業者(法人含む)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	168	—
実績	—	130	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名			
指標の説明			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	—	—
実績	—	—	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	完了
(担当部局による総合評価の理由や課題) 肥料をはじめ、農業資材価格の高騰により生産コストが増加している、市内農業者の経営継続を図る支援事業。	

今後の改善内容	(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 農業者支援事業は、令和4年度単年の緊急対策事業である。
---------	---

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		511-01-02	
事務事業名		農産物品評会・即売会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	1	都市農業の振興		目	3	農業振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市民					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市の農業特産物の販売、地域農業の振興・促進					
	手段 (事業内容)	羽曳野市農研クラブ連絡協議会主催の農作物展示品評会、品評会終了後の出品物の農産物の即売会の開催					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】
当初予算額	事業費	0	0	0	
決算額	事業費	0	0	—	【特定財源】
	特定 財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	品評会開催数	単位	回
指標の説明			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	0	0	1
実績	0	0	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	作物出品数	単位	点
指標の説明	農作物品評会への出品数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	0	0	77
実績	0	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) コロナ禍による品評会の中止や農研クラブ構成員の高齢化により運営が厳しい状況。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 令和6年3月の総会後農研クラブ連絡協議会廃止予定。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		511-01-04	
事務事業名		大阪版認定農業者支援事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	1	都市農業の振興		目	3	農業振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市内の農業の担い手で組織された農業者団体及び農協					
	目的 (どうしたいか)	大阪府の独自制度である大阪版認定農業者を推進するため、安定的な農産物供給を行う農業者等が行う機械や施設を整備するため。					
	手段 (事業内容)	事業主体からの申請を審査し大阪府へ申請を行う。補助金の範囲は1/3以内で大阪府からの補助金を市から事業主体に交付する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 対象事業費の1/3以内を補助 616千円 【特定財源】 府支出金 616千円
当初予算額	事業費	800	800	800	
決算額	事業費	654	616	—	
	特定財源等	654	616	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	申請件数	単位	件
指標の説明	事業主体から計画承認申請のあった件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	1	1	1
実績	1	1	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	採択件数	単位	件
指標の説明	事業主体から申請のあった計画が大阪府より採択された件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	1	1	1
実績	1	1	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 小規模農業者が多い実態を踏まえ、地産地消に取り組む農業者を認定し、育成・支援する制度。 認定を受けることにより、府や本市が実施する支援を受けることができる。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 事務事業の改善等により簡素化等を行うことは可能である。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		511-02-01		
事務事業名		有害鳥獣対策事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)	
				連絡先			内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費	
	施策	1	都市農業		項	1	農業費	
	施策の方向	1	都市農業の振興		目	3	農業振興費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	有害鳥獣により生活環境を害される可能性のある羽曳野市民						
	目的 (どうしたいか)	農業経営者の安定した生産確保のため、イノシシ・アライグマ・カラス・ムクドリ等の有害鳥獣を捕獲すること						
	手段 (事業内容)	年間を通して、有害鳥獣捕獲許可を4名の猟友会会員に与えてイノシシの捕獲檻の管理、並びに止めさしをお願いしている。また夏季にはカラス・ムクドリの有害駆除を猟友会に委託し、銃猟による駆除を行っている。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和4年度決算)※	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 有害駆除謝礼 405千円 有害鳥獣駆除委託料 2,039千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,705	2,526	2,931		
決算額	事業費	1,404	2,444	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	捕獲数合計		単位	頭
指標の説明	イノシシ・アライグマ・カラス・ムクドリの捕獲頭数合計			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標(見込)	300	330	190	
実績	226	230	－	

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	農作物被害件数	単位	件
指標の説明	鳥獣による農作物被害件数(※被害件数なので減少させることが目標)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	3	3	3
実績	3	3	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 遊休農地の増加、狩猟者の減少等から、今後、イノシシ、アライグマ、カラス、ムクドリ の生息域が広がっていくと考えられる。そのため、有害鳥獣の捕獲を継続して行い、農作物被害防止を行っていく必要がある。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 現在、大阪府内でアライグマ及びネオトリアの生息域が年々拡大している。また、シカの生息域も拡大しており、将来的に羽曳野市域にシカが出没する恐れがあり、迅速に対応するため、関係機関と連絡体制を構築していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		511-02-02	
事務事業名		ハウス等栽培助成事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	1	都市農業の振興		目	3	農業振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	ハウス栽培を行っている農業者					
	目的 (どうしたいか)	市内の農特産物のハウス栽培を促進し、効率的かつ安定的な農業経営体の育成及び支援を行うため					
	手段 (事業内容)	農業経営体から出されるハウス栽培に用いた廃棄ビニールの処分料の一部を市が負担する。※1kgあたり13円の補助額					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和4年度決算)※
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 ハウス栽培促進事業助成金 1,049千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	2,210	2,080	1,976	
決算額	事業費	1,040	1,049	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	廃棄ビニール総重量	単位	kg
指標の説明	ハウス栽培に用いた廃棄ビニール総重量		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	170,000	160,000	160,000
実績	79,950	81,000	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	助成額	単位	千円
指標の説明	廃棄ビニール処分料の助成額合計		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	2,210	2,080	2,400
実績	1,040	1,040	—

【事業費】
ハウス栽培促進事業助成金 1,049千円

【特定財源】

※事業の参考数値等※

市負担 13円/kg
JA負担 10円/kg
生産者負担 59円/kg

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) ハウス栽培に用いたビニールの処分料は農業者にとって大きな負担であることから、必要である。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 処分料と負担割合の調整を行った上で、今後も継続してハウス等栽培助成金を行っていく。 ビニールハウスの処分量は天候・天災により変わっていくため、過去の実績と天災への予防を考慮しながら事業費を検討する必要がある。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		512-02-01		
事務事業名		農業次世代人材投資事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線2411		
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち	款	6	農林水産業費
	施策		1		都市農業	項	1	農業費
	施策の方向		2		農業生産基盤の強化	目	3	農業振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		新規就農者					
	目的 (どうしたいか)		新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ること					
	手段 (事業内容)		新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を交付する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 農業次世代人材投資資金 5,981千円 【特定財源】 国庫支出金 5,981千円
当初予算額	事業費	6,750	10,500	5,250	
決算額	事業費	6,404	5,981	—	
	特定財源等	6,404	5,981	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	交付対象者数	単位	人
指標の説明	農業次世代人材投資交付対象者数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	5	4	4
実績	5	4	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	定着者数	単位	人
指標の説明	交付終了した新規就農者の定着者数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	1	0	3
実績	1	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 農業従事者の高齢化や遊休農地の増加等もあり、新規就農希望者を積極的に受け入れ、就農後のサポート体制の構築を関係機関と行っていく。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 新規就農希望者が増加しているが、営農を継続できない場合のデメリット等も説明し、未来につながる就農を検討していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		512-03-01	
事務事業名		経営所得安定対策等推進事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2411	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	2	農業生産基盤の強化		目	6	米生産調整事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市内において水田を有する者、又、耕作している者					
	目的 (どうしたいか)	食料・農業・農村基本計画に基づき、食料自給率を向上させ、米の作り捨てを防止するために主食用米から高収益作物(野菜や果樹)や飼料用米等に転作(米、以外のものを水田で栽培すること)を推奨するもの。また、諸外国から影響の受けやすい作物(麦等)の収入減の緩和対策					
	手段 (事業内容)	実行組合(地域の農業者の集まり)を通じて、その年度の米の作付けの計画を提出させ販売目的で栽培している作物(米以外の作物)に対し地域の実情に応じて交付金が支払われる。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 管内旅費 2千円 印刷製本費 125千円 郵便料 10千円 OA経費 152千円 【特定財源】 国庫支出金 899千円(うち人件費相当分【会計年度任用職員報酬等610千円】)	
当初予算額	事業費	1,106	1,002	1,025		
決算額	事業費	896	899	—		
	特定財源等	291	289	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	取組農家数	単位	戸
指標の説明	営農計画書の提出のあった農家数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	953	936	922
実績	947	890	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	転作面積	単位	m ²
指標の説明	転作している水田面積		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	892,605	537,960	537,960
実績	879,920	537,960	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 農家の経営安定や食料自給率の維持向上を目的として、農作物を生産・販売する農家に交付金を交付する国の制度をサポートする。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 事務の改善等により簡素化等を行うことは可能である。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		512-04-01	
事務事業名		土地改良事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2791	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	2	農業生産基盤の強化		目	5	農地費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市内で農作物を栽培している農業従事者及び農業用施設管理者					
	目的 (どうしたいか)	農業の生産性向上や農業構造の改善					
	手段 (事業内容)	農用地や農業用水路、農道等の農業生産基盤の整備及び農村の保全を行う事業（国庫補助事業・府営事業・府補助事業・市単独事業）					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 委託料:1,495千円 負担金: 759千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	2,564	2,555	891		
決算額	事業費	1,098	2,254	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	工事委託業務実施件数	単位	件
指標の説明	1年間で工事委託した延件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	1	1	1
実績	0	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	計画工事数に対する整備実施率	単位	%
指標の説明	適切に整備した率		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	100	100	100
実績	0	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価	改善して継続	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 農業用施設の適正な管理・農業従事者の増加・農業生産の向上を図るためには、新たな農業従事者の育成や既存施設の適正な管理整備等が必要である。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 羽曳野市の農業を守る観点から、社会情勢の変化に応じた施策を検討していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		512-04-02	
事務事業名		農業用施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2791	
担当部署名		農とみどり推進課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	6	農林水産業費
	施策	1	都市農業		項	1	農業費
	施策の方向	2	農業生産基盤の強化		目	5	農地費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	農業用施設					
	目的 (どうしたいか)	適正な維持管理を図る					
	手段 (事業内容)	長坂農道や古市排水機場等の市管理施設及びピーチパーク・パークはびきやま等の地元管理施設について適正な農業用施設の維持管理を行う事業(市単独事業(修繕等)・市単独補助事業)					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 需用費:修繕+薬品 2,691千円 役務費:樹木等+浚渫 1,483千円 補助金:市単独 2,554千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	9,476	9,457	9,571		
決算額	事業費	5,358	6,728	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	維持管理補修実績件数	単位	件
指標の説明	1年間で維持管理補修した延件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	20	20	20
実績	25	25	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	維持補修実施率	単位	%
指標の説明	適切に維持補修した率		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価	改善して継続	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 農業従事者等の各地域のニーズを反映しながら行政として適正な施設管理ができるよう今後も努める。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 地元と市が共同管理する施設については将来に渡り地域から親しまれる施設となるよう取り組みを行っていく。